

第 59 回全国大学対抗戦・第 45 回全国女子大学対抗戦『感染対策要項』

2022 年 5 月 16 日

日本学生ゴルフ連盟

感染対策小委員会

目次

はじめに・・・感染対策指針と加盟員、関係者へのお知らせとお願い	2 ページ
1、 選手・関係者全員へ抗原検査実施について	3 ページ
2、 検査方法とそれに対する諸注意事項	3～4 ページ
②－1) 検体採取実施日について	
②－2) 検査結果報告のやり方	
②－3) 検査結果判明後の段取り・諸注意事項	
3、 試合当日の会場入場時における感染対策チェック項目	5 ページ
① 入場時の流れの説明と提出義務書類について	
*入場を許可されないケースについて説明	
② 入場チェック前に必ず守って頂きたい約束事→チーム責任者へのお願	
4、 「学校バブルシステム」施行と遵守	5 ページ
5、 その他の諸注意事項	6～7 ページ
① 試合中、体調に異変をきたした場合	
② 「体調管理チェックシート」の開始日	
③ プレー中以外は「マスク着用」の徹底	
④ 発熱、咳き込む、熱中症、体調不良に関して	
6、 ローカルルール	7～8 ページ
① 18 時以降の飲食の許可について	
② レストン利用について	
③ ロッカー利用について	
④ 特別ローカルルール (重要)	
⑤ 関係者以外の立ち入りについて	

はじめに

選手、関係者の皆さま

感染症に対して、政府、自治体単位での緩和策や世情的な緩みも見受けられる一方で、まだまだ不穏な感染状況も顕在しているという、混沌とした中で、全国大学対抗戦・全国女子大学対抗戦開催に、ご理解とご協力の意を示して頂き、誠にありがとうございます。

本連盟主催競技開催に際して、感染対策の観点は、JGA、UNIVAS（大学スポーツ協会）の観点到即応し、本連盟が医療専門家も交えて作成、ご提示させて頂いた「ガイドライン」を行動指標の基本としております。

そして、その感染対策の指針として、

①加盟員とその関係者、ご家族の健康と命を守ることを最優先する。

②責任を持って感染対策を徹底し、感染拡大防止に努め社会（日本国）に協力する。

以上の2つの骨子を指針とし、状況判断、運営に努めるものとします。

今一度このガイドラインを読み返して頂き、ご理解を深めて頂ければ幸いです。

***2022年3月22日にガイドライン改訂版をホームページ掲載しております。ご一読下さい。**

感染者割合において、10代、20代の若年層比率が5割を超えるという実状により、今年度も昨年同様の感染対策を余儀なくされる中、本競技開催に携わる全ての関係者の皆さまが、共通の目線を持ち、大会の円滑な進行と成功をおさめることができますよう、ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

日本学生ゴルフ連盟
感染対策小委員会一同

1、本競技は、試合前に抗原検査を行ないます

***ワクチン接種、未接種に関わらず、選手・関係者全員に実施させていただきます**

◎検査を行なう理由として

- ①全国各地から競技会場に集結するという規模感を鑑み、お世話になるコースへ全員「陰性」にて入場し、万全を期して競技開催に臨む。
 - ②現在の感染者において、「無症状感染者」が少なからず若年層にみとめられている点とワクチン接種者においても感染事例が顕在している実状を考慮すると、検査ナシではリスクが大きい。
 - ③本来なら本競技は「2日間競技」なので、ワクチン接種済み者は検査免除であるが、競技会場の場所柄、競技開始の数日前から現地入りする大学も多いという過去事例から、実質4泊以上の長丁場となる公算が高いため、ガイドラインに則って検査を行なう。
- 以上の背景・理由から、全員を対象に、検査を実施することをご理解下さい。

2、検査方法とそれに対する諸注意事項

選手・関係者は、必ず6月16日（木）～18日（土）に、抗原検査を行なって下さい。この日以前の検査日は、検査の精度上、NGとします。 *検査日詳細は後述

検査キット等は、お手数ですが、各校で購入なり、お手配をお願い致します。

ご負担頂いた分に関して、登録選手6名+主務（それに準じる者）1名の計7名分に対して、**本連盟費用負担は、一人当たり税込1000円とさせていただきます。**本連盟に大学単位でご請求頂ければ、競技会場にてお支払い致します。（指導者の方は自己負担お願い致します）

*参考までに本連盟がお取り組みしている「Anywhere（エニーウェア）」様 (<https://anywhere-no1.jp>) からですと「**鼻腔採取抗原検査キット**」を825円（税込）にて購入できます。

また、自治体が斡旋する無料のPCR検査を行なう場合も、同様に陰性の証明となる写真を送って下さい。

以下、対象選手、関係者用の手順説明

②-1) 検体採取実施日について

6月16日（木）～6月18日（土）午前中までに検査実施して下さい。

*検査精度上、上記実施日は、余程の理由がない限り、遵守して下さい。

②-2) 検査結果報告のやり方

6月18日（土）PM2時まで（この時間を越えた場合、基本、受付致しません）

検査人数分の判定写真を所定の「**検査結果報告フォーマット**」(Excelファイル)にまとめ、

以下のメールアドレス宛に提出して下さい。

ksga.kensa@gmail.com (担当：学生感染対策委員 牛谷、新出、関谷)

***この判定報告を間違いなく、正確にレスポンスして頂けることが重要です。**

この報告フォーマットでの陰性確認と「団体戦 陰性確認兼選手登録」書を提出された選手が【対抗戦選手登録者】として認可されます。

↓

「検査結果報告フォーマット」記入方法について

① 1シート目の「提出用紙」については、青色で塗られている記入欄がございますので、そこに必要事項を全て記入して下さい。

② 2シート目の「検査結果」については、シートの上部に記載されている例を参照して、検査結果の写真やスクリーンショットを載せて、名前の記入を必ず行なって下さい。

検査結果の写真のサンプルを、以下に掲載します (要参照)

大学名	学生連盟大学	↓該当する方に○
氏名	学連 太郎	<input checked="" type="radio"/> 加盟員 / <input type="radio"/> 加盟員以外
検査日時	2021年 8 月16日 14 時00分頃	



*上記写真の検査板と実物は若干異なります

②-3) 検査結果判明後の段取り・諸注意事項

もしも「陽性」判定が出た場合、その方は、日本国の様式に従った行動をとって下さい。

(医師・保健所への相談・連絡)

また、陽性判定者は、その結果を部の責任者(指導者、主将、主務)に必ず報告して下さい。報告を受けて、責任者は、まず所属大学当局にその旨の連絡を入れ、大学当局の指示・判断をあおいで下さい。大学当局からの指示が「チームの出場を認める」或は「出場を辞退する」など、どういう裁定にせよ、速やかに本連盟に必ずご一報下さい。

*同一校から 2 名以上陽性者が出た場合は、クラスターの疑いとなり、その大学は出場できません。(但し、活動拠点が全く別で、普段からの接触がないことが証明された場合、この限りではありません) もちろん、陰性であれば指定練習日よりご参加下さい。

- 注：**すぐに判定の出る抗原検査を、試合当日の朝に現地で検査実行しないのは、
- ・現地では、陽性者に対して、その場ですぐに医療的な判断と対処ができない。
 - ・陽性者が現地で発覚した場合、「個人情報漏えいリスク」とそのガードが難しい。
 - ・現地で追跡調査（濃厚接触者の有無や行動足跡確認など）を行ない、対処する困難さ。
 - ・多数の参加校の選手が集まる現地で、クラスターを出すリスクを回避するため、
が挙げられることをご承知おき下さい。

3、試合当日の会場入場時における感染対策チェック項目

① 入場時の流れの説明と提出義務書類について（指定練習日含む）

入場の際は、本連盟が定める所定の場所（わかりやすい場所に設置します）にて、感染対策の見地で、一人一人チェックを行います。***大学単位でそろって入場して下さい**

1) まず、所定の項目（体調面や平均体温）をきちんと記入した「**体調管理シート**」を**必ず提示**→**シートを提示できない或いは内容が記入されていない場合入場できません。**

↓

2) シート提示と同時にサーモグラフィーによる「検温」を行います。

→その際、シートに記載の平均体温より1度を超えて高い体温の者は、「再検温」の場所に回って頂き、より精度の高い検温器で再度、測り直します。それでも、前述の規定**「平均体温より1度を超えて高い体温」に抵触した者、又は37.5度以上の者は入場できません。**

②入場チェック前に必ず守って頂きたい約束事→チーム責任者へのごお願い

感染対策の大切なポイントとして、責任者の方は、以下の点を必ず遵守して下さい。

- 1) 当日の朝（試合会場出発前）に、発熱症状（平均体温より1度を超えて高い場合）がある者、或いは体調を崩している者はいないか？！の確認チェック。
- 2) 上記に該当する選手・関係者をコース入りさせない。
- 3) 「体調管理チェックシート」を忘れていたり未記入はいないか？

4、「学校バブルシステム」施行と遵守

①普段から学校単位での感染対策の更なる徹底をお願い致します。

②競技会では、学校単位での接触活動のみにとどめることを徹底し、

学校を超える選手間・関係者間の濃厚接触を完全に避けることとします。

- ・朝の入場時は、他校選手との濃厚接触を避けるようケアして下さい。
- ・プレー中もソーシャルディスタンスをとり、他校選手との濃厚接触を回避して下さい。
- ・当日の来場も、同じ大学単位で来場。練習場、練習グリーンも濃厚接触を避けて下さい。
- ・猛暑や大雨など、諸状況でロッカー利用許可が出た場合や、クラブハウス及びその周辺待機の場合でも、同じ大学単位での行動指標を念頭に置いて下さい。

このシステムを遵守して頂くことで、万が一、感染者が認められても「濃厚接触は当該大学の選手、関係者のみ」となり、その日の競技を中止せず、継続することができます。

***その選手自身は競技場から退場。** 濃厚接触の当該大学の他の選手、関係者も、競技場から退場となります。

5、その他の諸注意事項

①試合中、体調に異変をきたした場合

その場合、外傷など、その理由がはっきりしている場合を除き（例えば毒虫に刺された・転んで手を怪我した 或は本人がわかっている自己疾患等）、速やかに その症状を含めて本連盟の運営事務局に申し出ること。

その上で、

- ・コースから紹介頂いた近隣病院、または身近な医師に相談。
- ・救急車(119番)へ連絡しそこで適切な対応して貰う。*このケースが最もあり得る。

②「体調管理チェックシート」の開始日 *試合開始当日から 15 日前

- ・男女ともに全参加校 →6月8日(水)よりチェック開始となります。

③ プレー中以外は「マスク着用」の徹底

練習場、練習グリーン、スタート集合時、アテスト時は、マスク着用を基本とし、飛沫の出るような私語は厳禁とします。(ショット・パター練習時マスクは必須とはしていませんが、口を開けての発声を行った場合は下記のような退場処分となりますので、マスクできる状況下ではマスクの着用が無難です)

*私語や大声の会話を注意される、マスク未着用を注意される等、感染対策上の落ち度を、合わせて2回以上受けた者は、反省の意がないと判断し、**退場して頂きます。**

④発熱、咳き込む、熱中症、体調不良に関しては、下記の点をご注意ください。

1) 上記の顕著な症状が、競技中に認められた場合は、**症状を隠すことや、無理をすることはせず、遠慮なく学連関係者へ申し出て下さい。**(その勇気によって、競技進行が大事に至らず、ご自身・参加者の「命」「健康」を救う判断となります)

2) **競技数日前から体調不良の自覚がある場合は、必ず部の責任者に申し出ること。**

3) 熱中症を防ぐ意味でも、十分な睡眠、小まめな水分補給を試合当日はもちろん、普段から怠らないようお願い致します。*日傘は必ず持参すること

(感染対策上、「熱中症のリスクでマスク未着用の場合は日傘必須」のローカルルールを設定することがございます。 *ガイドライン P41 参照)

6、ローカルルール

対抗戦会場である苫小牧エミナ様の周辺環境や、プレー終了時刻の時間帯を鑑み、下記内容のローカルルールを特別に定めますので、必ずご一読熟知の程、宜しくお願ひ致します。

①18時以降の客として飲食店舗の利用は、20時まで条件付きで認めることとします

但し、以下の点を遵守して下さい。

- ・食事をとる際は、感染対策がきちんと成されている店舗であること。
- ・必ず「黙飲食」とする。
- ・食事を済ませたら速やかに宿舎に帰宅する。
- ・このローカルルールの時間的な許容時刻は「20時まで」とします。

②レストラン利用は、朝食のみ可

●朝食を利用する大学は、エントリー用紙所定欄に必ずその旨を明記して下さい(予約制)
「学校バブルシステム」施行のため、大学ごとにテーブルを設置しますので、そちらで食事を済ませ、食事後は速やかに退席をお願い致します。 *1テーブル4名利用まで可

●昼食利用に関しては、一般のお客様が、多数利用される為、前回のエミナさままでの開催同様、レストラン利用をせず、ラウンド終了後、南コースと東コースにて「お弁当」を配るので、アテスト終了後、順次、オープンエアのスターティングホール付近の芝生で食べる、自身の車や大学のバスで食べても結構です。(エミナさまからのご承認をしております)

*雨天の場合は、本連盟の指示に従って下さい

●指導者の方々のレストラン利用は常に認可・・・「学校バブルシステム」施行の為、大学ごとのテーブルにてご利用下さい。利用後は速やかにご退席下さい。

③ロッカー利用も可

「学校バブルシステム」施行のため、大学ごとにロッカーを集積しますので、他大学との濃厚接触を避け、ソーシャルディスタンス確保に努めて下さい。

★**脱衣所、シャワー利用に関しては、基本、不可とします。**⇒利用の際、マスクを取ることであり、感染対策上、リスクヘッジできる医学的確認が得られない為。

(万が一、感染者が出た場合、保健所の対処事例でも、脱衣所・お風呂場にいた全員が「濃厚接触」となってしまうことがあります)

但し、最終日に大雨や猛暑などで、濡れたままでは健康面での懸念がある場合に限り、利用を認める場合もございます。

また、刻々と変わる感染状況或は天候や環境変化を鑑み、追加の感染対策や感染対策の

ローカルルールを発信する場合もございます。その場合、主務連絡網やホームページ、試合会場掲示板或は委員長、競技委員長からの通達を通してご一報させていただきますので、ご確認の程、お願い致します。

④特別ローカルルール

「競技7日前の宿泊を伴う練習・ラウンドには、事前の申請認可と検査が必要」というガイドラインに関しては、本大会は施行しないこととします。

↓

本大会会場の地理的背景上、チームによっては、1週間近く前から現地入りされる大学もあると聞いており、実質、上記を施行並びにマネジメントすることが困難な為、前述の「事前抗原検査実施」にて、感染対策を行なうこととします。

⑤関係者以外の立ち入りについて

本大会に関しては、大学関係者（主に、大学職員の方、広報取材担当者、OB 会正規会員）、業者さま（各種メーカー様）、プレス媒体の方々に関しては、本連盟に届出のうえ、6月16日付け以降の陰性証明提出にて、入場を認めることとします。但し、安全管理上、1社或は1大学関係者につき2名までとし、立ち入る範囲は、スタートホール付近とホームホール付近までとします。

また一般ギャラリー、父兄の皆さまに関しては、感染確率を極小化すべく、クラブハウス、コース内への入場を不可とさせていただきます。

本連盟としても事前準備含め、より円滑に推進できるように努めます。

皆さまには細かい段取りを強いらせてしまいますが、感染対策の見地で、安心・安全な競技開催を具現化する為の大切な行動指標として、ご理解頂ければ幸いです。

このコロナ禍での競技開催が、皆さまにとっても本連盟にとっても、今後（未来）に繋がる有意義な開催となることを切に願っております。